

総務部長	五十嵐 久英君	市民部長	渡辺 成剛君
産業部長	見辺 太君	総務課長	渡辺 忍君
企画定住課長	渡辺 孝志君	市民課長	川合 三喜八君
環境生活課長	高野 一夫君	福祉事務所長	嶋田 猛君
健康増進課長	池田 隆君	商工観光課長	大嶋 利幸君
農林水産課長	猪又 悦朗君	ガス水道局長	樋口 昭人君
消防長	小林 正広君	教育長	井川 賢一君
教育次長	磯野 茂君	教育委員会子ども課長	磯野 豊君
教育委員会子ども教育課長	富永 浩文君	教育委員会文化振興課長 市民会館長兼務	伊藤 章一郎君

〈事務局出席職員〉

局	長 松木 靖君	次	長 松村 伸一君
係	長 上野 一樹君		

〈午前10時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

おはようございます。
 これより本日の会議を開きます。
 欠席通告議員は、ありません。
 定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長（中村 実君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
 会議録署名議員には、4番、吉川慶一議員、12番、斉木 勇議員を指名いたします。

日程第2．一般質問

○議長（中村 実君）

日程第2、一般質問を行います。
 4日に引き続き、通告順に発言を許します。
 笠原幸江議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。〔11番 笠原幸江君登壇〕

○11番（笠原幸江君）

おはようございます。清政クラブ、笠原幸江です。

事前に提出いたしました通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1番目、糸魚川ジオステーション、ジオパルの現状と課題と今後について。

「ジオパル」は糸魚川の魅力の発信基地として、JR糸魚川駅のアルプス口に平成27年の春に開設されました。施設として「ジオパーク観光インフォメーションセンター」、「キハ52待合室」、「ジオラマ鉄道模型ステーション」、「トワイライトエクスプレス再現展示」のほか、今後の予定として「くろひめ号」が展示され、5つで構成されることになります。鉄道愛好家の輪が大きく広がっていると関係者からお聞きしています。その中心施設として、さらなる飛躍に期待するものであります。また、子供たちにとっても遊びいっぱいのプラレールが、夢を乗せて楽しさ満載の場所となっています。市内外の人々が利用しやすい「ジオパル」は5年経過し、少し手狭感がありますが、現状と課題と今後について、以下の項目をお伺いいたします。

- (1) 開設当時のコンセプトは、どのようになっていますか。
- (2) 待合室としての現状に問題はないですか。
- (3) ジオラマ鉄道模型ステーションの利用度の分析をされていますか。
- (4) 管理運営は、現在どのような形態となっていますか。今後、ジオラマ鉄道模型ステーションを独立して管理運営されたらと考えるのがいかがですか。
- (5) 市民から利用済みになったプラレールの寄附を、開設当時にされています。このプラレールを有効活用するための現状はどうなっていますか。また、今後の企画を考えていますか。

2番目、市内いつでもどこでも安全・安心なおいしい水について。

私たちの生命を守り続けている地球からの贈り物「水」。当市においても井戸水から水道水に変わった水道法に基づく水道水になって68年に入りました。

私は、「安全・安心な水道水の確保について」を平成18年6月定例会で一般質問させていただいています。その後の経過と今後について、以下の項目についてお伺いします。

- (1) 経年管（石綿管）使用延長、糸魚川上水道7.8キロメートル、能生上水道2.3キロメートル、西海簡易水道3.8キロメートルについて、約10年間程度かけて交換とお聞きしていますが、完了していますか。
- (2) 水質基準項目は51ありますが、項目以外の水質検査は進んでいますか。特に水のおいしさに関する基準は7項目ありますが、その中の遊離炭酸の検査をその後されていますか。
- (3) 中山間地に散在する組合水道の公営化の進捗状況は、どうなっていますか。
- (4) 毎年6月1日に水道週間を掲げています。市民に引き続き周知をされていると考えますが、周知方法の工夫改善点はどうか。
- (5) 水道ビジョンでは、計画期間が平成21年度から平成40年度までと明記されています。自然や社会環境の変化とともに見直しする必要があると考えます。いかがですか。
- (6) 水道料金あり方検討委員会での資料の課題として、経営状況は令和6年から赤字経営に陥

ると示唆しています。その対策はどうですか。

3番目、資源循環型社会の推進について。

令和2年4月に新ごみ処理施設が稼働し、埋立てごみであったものの一部が燃やせるごみに変更され、4か月がたちました。さらに、容器包装リサイクル法が改正され、7月1日から海洋プラスチック問題や地球温暖化の解決の一步として（レジ袋）の有料化がスタートし、2か月がたち、広報いといがわ7月号で特集もされています。コロナ禍の中、1日も休まず収集を支えていただいたと感謝の声もあるとお聞きしています。一方、分別になれた市民の戸惑いや、燃やせるごみとして取り扱われることの利便性と様々であります。そこで、家庭ごみを減量するため様々な取組をしていますが、一向に減量が進んでいないのが現状です。減量目標値を達成するため、以下の項目について伺います。

(1) ごみ処理に係る経費は、年間1人当たりどのような推移となっているか伺います。

(2) レジ袋が有料化され、買物のときにマイバッグを持参される市民が多くなったと感じています。燃やせるごみの日に出す家庭ごみ用の袋があったらよいのではとの声もお聞きするようになりました。費用負担の公平な観点から排出時のごみ袋の有料化に着手される考えはありますか。

(3) 当市指定のごみ袋を作成し、安価で販売したらよいのではないかと考えます。県内の取組の現状と、当市として踏み込めない理由は何なのか伺います。

以上、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

笠原議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、糸魚川ジオパークをはじめとする当市の魅力の発信と、市民、来訪者及び観光客の交流促進を目的として設置しているものであります。

2点目につきましては、ジオパルは糸魚川駅の待合室の1つとして機能をしており、特に大きな問題はないと考えております。

3点目につきましては、毎月、利用状況の報告を頂いているほか、随時、利用者に聞き取りを行っており、誘客宣伝や運営に活用いたしております。

4点目につきましては、現在、ジオパルの管理を観光協会に委託しており、全体で人員を調整できることなどから、独立した運営は考えておりません。

5点目につきましては、ジオパル内での展示やイベントで活用しており、今後、関係者等から意見を頂き、連携し、新たな企画を検討してまいります。

2番目の1点目につきましては、能生上水道、西海簡易水道は、23年度に石綿管の入替えが完了し、糸魚川上水道は、今年度の工事により全て入替えが完了いたします。

2点目につきましては、農薬類、ダイオキシン類、放射性物質の検査など、水質管理の強化に努めており、遊離炭酸の検査も毎年実施いたしております。

3点目につきましては、17年度から公営化の整備を順次進め、今年度の根知地区を最後に、計画している公営化は完了いたします。

4点目につきましては、ポスター掲示や懸垂幕により周知しているほか、小学生の施設見学やガス・水道フェアにおいて啓発活動を行っております。

5点目につきましては、国・県の水道ビジョンの方針を踏まえ、見直しを進めてまいります。

6点目につきましては、人口減少に伴い、今後ますます経営が厳しくなることが予測されるため、経営改善に取り組んでまいります。

3番目の1点目につきましては、ここ3年間は、ほぼ横ばいで推移をしておりますが、新たなごみ処理施設の稼働により、今年度以降は下がる見込みでございます。

2点目につきましては、令和2年3月に策定した基本計画の中で、市民の減量意識の改革につながる家庭ごみの有料化について、検討を続けますとしており、引き続き広く市民のご意見をお伺いしてまいります。

3点目につきましては、県内では指定ごみ袋制度を実施している自治体は1自治体であり、その他25自治体のごみ有料化を実施していることから、有料化と合わせて検討してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

2回目の質問をさせていただきます。

ただいま市長のほうから、開設当時のコンセプトをお聞きいたしました。それで、このコンセプトを利用される方はもちろんですが、私たちがいつでもステーションへ行ったときに、いろんな方、誰でもが安心して、その時間を共有する場所、様々な取組の中でやっております。

ただ、その時間の中で長時間、学生さんが待合せ時間に使ったり、あるいはその中で様々な資料を見たりとか、そんなときに、その場所で長時間いるということは、駅の中を待合いはもちろんなんですけども、学習のために長時間いたり、あるいはボルダリングをするのにお母さんと一緒にお子さんが行って時間を過ごす。そういうところの制限というのは、今現在はどのように考えていらっしゃいますか。長くいてはいけないという考えなのかどうか、聞かせてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おはようございます。

この施設につきましては、ただいま市長から答弁がありましたように、観光情報の発信と、あと市民、来訪者、観光客の交流促進を目的として設置した施設でございますので、特に長時間いてはいけないとか、そういう基準は設けておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

長時間そこで子供たち、あるいは学生さんの人たちが、資料を調べたり、それからそこで遊んだり、親子で遊んだり、それから、ジオパルの中でプラレールに触れたり、そういうことは問題ないということでもう一度、理解したいと思うんですけど、長時間いてはいけないというものではないということをもう一度お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

鉄道やバスの待合い機能ですとか、あと学校帰りの自習の時間にお使いいただくとか、いろんな使い方があると思いますので、特に時間等の制限は、設けておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

そうしますと（2）の待合室としての現状なんですけれども、少し手狭感を感じております。それは徐々にステーションそのもの、あるいは駅北口のほうに様々な、今度くろひめ号も入ってきます。ですから、ちょっと待合室が狭くなってきているかなという感じはするんですけども、担当課としては、そのような感じは受けておりませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパルの主な利用者につきましては、平日の時間帯によったり、あと土日の時間帯によっても利用者の質といいますか、利用者の方が、いろんな方がいらっしゃいます。特に平日の夕方には、高校生とかも、あそこをご利用になるものですから、時間帯によっては手狭になることがあるかと思っておりますが、観光インフォメーションコーナーのほうにつきましても、テーブル、椅子がございまして、上手に誘導するなりをして、対応していくことが大切だろうというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

（3）番目のジオラマステーションの利用度の分析なんですけども、皆さんのほうでどの程度把握されてるか、ちょっと確認したいんですけど。要するに分析、年間の利用度がどれぐらいなのか、それから、集約してあるというか、その辺をちょっと数字を聞かせていただきたいんですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパル全体の入込みにつきましては、昨年度の実績では約31万人でありまして、そのうちジオラマコーナーにおける運転体験の利用者につきましては約3,300人であり、増加傾向であるというふうに捉えております。お客様は、市内の方のほか、富山、長野、東京方面から大勢おいでいただいとるというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

ジオラマステーションの利用等の分析、さらに有料で動かせる、例えば500円、それから施設を運営していらっしゃる皆さんにお聞きすると、すごくファンが多くなりまして、全国から糸魚川市のほうに、今コロナ禍のためにちょっと減少してますけれども、もう本当にファンの方が多くおいでになっておりますということをお聞きしています。それから、そのファンの人たちが、ご自分の大切なグッズといいますか何というか集めた、とても趣味の広い方たちが寄贈してくれたりとか、それから、これはしばらく貸しますよとかというふうに展示物も増えてきたと思うんですけども、その辺のご理解というのは、行政のほうでどういうふうに分析されておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオラマコーナーの展示物につきましては、ご自宅で管理されていた方が、管理できなくなったんでジオパルで管理してほしいとか、いろんな形でジオパルのほうへ持ってこられる方が多くいらっしゃいます。おっしゃるように手狭になってきておりますので、倉庫に入れて、逐次、展示替えをするなり、ちょっと工夫して展示をしていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

そこで、私ちょっとお聞きしたかったのは、（4）に入っていきますけれども、先ほど市長答弁では観光協会に委託して管理運営してるので、新たな鉄道模型ステーションとしての独立の管理運営はしないという回答頂いてるんですが、これ全体を観光協会が全て網羅して、委託されてる業務内容の中にそれも入ってるもんなんですか。確認お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパルの管理につきましては、あそこには大きく分けて3つの施設がありまして、ジオパーク観光インフォメーションセンター、あとキハ52待合室、ジオラマ鉄道模型ステーション、この3つを一括してジオパルということで、観光協会へ委託しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

すると中の企画というものも、観光協会のほうで、言葉で言ったら企画、運営までやれるようなもので、委託の項目に入ってるかどうか。私はちょっと無理だと思ってます。観光協会というのは、様々な窓口持ってまして、そのジオラマの中までの今の展示物だとか、あるいは何かを企画するというのは、とてもお仕事としては増えますので、あの駅のにぎわいを持たせて、観光客だけでなく、親子連れだとか様々な人たちの交流が生まれる場所と私は考えておりますが、委託の項目というのの中に企画まで入ってるもんなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオパルの運営等の業務委託の仕様書では、基本的には施設の運営全般に関する業務と、施設の保全等の全般に関する業務ということで委託しております。主には、施設の管理等が主なものになっております。実際の企画は、所管であります商工観光課が中心となって検討しておりますが、ただ、実際お客さんと接しておられるのは、現場におられる方ですので、随時打合せを行ったり、事あるごとに顔を出して、お話をお聞きする中で新たな取組等について検討しておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

それでは、観光協会がジオラマステーションの中で何か企画をしたという事例は、何かありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ジオラマコーナーの展示ですとか、イベント等につきましては、基本的には観光協会並びにジオラマのスタッフ等の発案によって行っているところでありまして、今後とも、観光協会並びにジオラマのスタッフ等と連携を取る中で、新たな取組、展示等について進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

具体的なものが、まだされてないということですよ。それで、令和2年度の予算も見させてもらおうと、それらしいイベントだとか企画とか、そういうものがあまり上がってきえてないようにお見受けします。維持管理委託費というのは、全体に観光協会に渡されてますね。それで、模型ステーション、プラレール、キハ展示、トワイライトエクスプレス鉄道遺産、くろひめ号、子供から大人まで楽しめるスケールは、だんだん、だんだん大きくなってきてます。また、8月9日には、トワイライトエクスプレスが公開されております。今もされております。今後さらに、駅の南口、アルプス口、にぎわいを創出するために、私はぜひ企画が今後大事になってくるのではないかなと思っております。

トワイライトエクスプレスの中に、初日に吉川議員が質問された中に、今後あのトワイライトエクスプレス号の食堂車の中で、お食事を召し上がられるような企画も検討されていくということでございます。ですから、その企画案とか、例えばどういう形でそこでお食事が、私も今から楽しみにしてるんですけども、大変、ちょっと残念なのは、外形が杉材でできてるということだけなんですけれども、中はすばらしく、そのまま再現されております。そういう企画は、どこで今後やっていかれますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

トワイライトエクスプレスの再現車両でのお食事につきましては、JR西日本ですとか、あとそこで食事を取るということになりますと、保健所等の関係も出てきますので、協議を進めてるところでありまして、具体的な内容はこれから詰めることになりませんが、基本的にはあそこで豪華なお弁当といいますか、少しおしゃれなお弁当を食べていただけるように、また、昼の部、夜の部ということで取り組めないか、今検討を進めてるところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

検討を進めていくということなんですけども、商工観光課と担当者がその中に入って、観光協会も一緒になって企画をしていくという理解でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、観光協会が食事の提供も中心ということになりまして、市内の事業者にも公募をしまして、そ

こで食事を提供していただけるところについて、これから選定を進めていくことになっておりまして、準備が整い次第、なるべく早めに食事の提供について周知に取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

大きな期待をしております。

（5）番に入ります。市民からの利用済みのプラレール、今現在、5年たちますけれども、今現在、管理はどのようになってますか。まだ寄附されたものがどこかに、倉庫にあるのか、今とてもステーションの中にプラレールが、本当に夢乗せて圧巻で動いてますけれども、まだまだ使えるようなプラレールの在庫というのは、残っておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

新幹線開業時に、皆様からプラレールをご提供いただいた中から、今、一部であります、ジオラマコーナーに展示しておるわけでありまして、倉庫には、まだ幾つかの箱の中に入れて、レールですとか、鉄道ですとか、あるというようにお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足して、お答えさせていただきます。

イベントのときには、そういった倉庫にあるものを使わせていただいておりますし、また、やはり時々、展示替えをしながら利用させていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

その当時、開設当時にプラレールの件でタカラトミーさんとの契約というのは、今どのような状態になって、まだ続いているものなんでしょうか。ちょっと気になるそこなんですけれども、契約年数とかそういうものがあるのか、それをちょっとお聞かせ願いたいんですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

タカラトミーさんとは、開業時のイベントから契約をしているところでありまして、現在も続い

ておる状況でございます。使用期間につきましては、基本的には常設展示が撤去されるまで続いているということでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

提案なんですけれども、子供たちが夢を一番興味を持って、小さいときからタカラトミーさんのプラレール、それをまず手に取って、それがだんだん大人になっていって、今のファンが多く集まっているというジオラマにおいてになる方たちの夢であれ、それが大人になって経済的なものもありますけれども、ぜひプラレールをもう少し活用するために、全国でもあまりやってないんですけれども、いかがですか、ギネスに挑戦するという、ちょっと無謀な計画かもしれないんですけれども。今年にはコロナ禍で駄目だけれども、ヒスイ王国館の広間を使って、ギネスは無理だったら、何かすごいレールをつないで、どれぐらいの期間、どれぐらいの距離があの中で精査できるかというようなものを、いま一度、企画の中に入れてもらえれば夢があっというのではないかなと思ってるんですけれども、そんなちょっと無謀な提案なんですけど、その件についてはいかが考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

プラレール、そしてまた、ジオラマの鉄道模型、両方とも好評でございます、非常にどちらもやはり手狭感を感じておる状況であります。そういう中で、非常にプラレールということになりますと、小さいお子様でございますので、やっぱり安全な広い場所が必要になってこようかと考えておりました、今、議員ご指摘のような、やはりプラレールはイベントの大会は全国でやるとるんですが、常設展示、常設の会場というのは糸魚川市だけと聞いとるわけでございますので、そういったところをやはりしっかりやっていくことが情報発信の大きな事柄になるだろうと思っておりますので、そういった機会なりイベントを今後考えていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

全国的に見ると学校の、要するに廃校になった体育館とか、そういうところで子供たちに実際にレールをつないでもらって、専門家の方がそれを点検して、何かあれは大変厳しいらしくて、電池がなくなって終わるといようなシステムになっているようなんです。しかも幾つも電池を使うんじゃないで、1個の電池でそれを動かすということでもありますので、ぜひまた、何かの機会があったら、子供たちに触っていただくというやり方もあるのではないかなと思います。

プラレールも当初、寄附されております。5年ぐらいたっておりますが、また、おうちで要らな

くなったというとおかしいけども、ちょっと子供たちも成長して、ちょっとこれも市に寄附したいなというお子さんたちが、お母さんたち、あるいはお父さんたちがいらっしゃった場合の窓口としては、考えておりませんか。たくさん集めるのは、何かやぶさかではないと思うんですけど、その点はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今ほどのギネスへの挑戦というのはともかく、コロナが収束した際には、広い場所で走らせるイベント等も面白いと思っておりますので、そういうところに向けて、さらにレール等の収集といえますか、寄附を頂けるような取組も今後やっていく必要もあるのではないかとこのように考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

糸魚川市内に、このプラレールのとても精通していらっしゃる方もいらっしゃるというお話もお聞きしておりますので、そういう人たちの知恵もお借りする中で進めていただければいいかなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

2番目の市内いつでもどこでも安全・安心のおいしい水のほうに入らせていただきます。

説明させていただいたんで、10年間かけてといういことで、いま一度答弁いただきたいんですけど、終わっておりますでしょうか、（1）の問題です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

樋口ガス水道局長。〔ガス水道局長 樋口昭人君登壇〕

○ガス水道局長（樋口昭人君）

おはようございます。

お答えいたします。

石綿管の取替えにつきましては、先ほど市長が答弁したとおり、能生上水道、西海簡易水道につきましては、平成23年度に完了しておりますし、糸魚川上水道につきましても、浦本地区が26年度、大野地区が29年度、そして今年度、竹ヶ花地区の工事で全て取替えが完了ということになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

この経年管については、まだ工事がお済みでない場所というのは何か所かまだあるものなんではないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

樋口ガス水道局長。〔ガス水道局長 樋口昭人君登壇〕

○ガス水道局長（樋口昭人君）

基本的には、石綿管は全て撤去して、なくなった状態でございますが、ただし、建物の下だとか、あと民地など、一部撤去が不可能なところがございまして、そういうところは一部残置している状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

（2）番なんですけれども、水質検査をやっていただいている遊離炭酸、これは先ほどの答弁でしてますということなんですけれども、これ今現在、私、平成18年に一般質問したときは、まだ検討して下さるということだったんですが、これいつ頃からこの検査の対象として、毎年やっていただいているもんなんですか、時々やるもんなのか、これはどうなっているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

樋口ガス水道局長。〔ガス水道局長 樋口昭人君登壇〕

○ガス水道局長（樋口昭人君）

遊離炭酸の水質検査につきましては、毎年、上水道、簡易水道の管末の一部で、年4回の頻度で行っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

おいしい水、糸魚川の水はおいしいんです。一般的にとてもカルシウムがたくさん入ってて、あと様々な成分が、糸魚川の水道をひねるとジャーと出てきてるあの水というのは、糸魚川の、私の調べた範囲の中では大変体にもいいしということでおいしい水。冷たさというのが夏と冬ではあれなんですけれども、その中に水温が一番ネックになるんですけれども、マグネシウム、カルシウムとか、今言ってた遊離炭酸、この検査をしっかりと、ほかのものは全部、51品目の中に入ってるんですけれども、せっかく調べていただいて本当にありがとうございます。そういうものを調べて、市民の皆さんにお知らせするというのは、私、とても大切だなと思っておるんですけれども、しっかりと前回、18年のときは50項目だったのが、今度51項目ということでやられております。そういうものをお知らせする意味で、ホームページだけに載せるんじゃなくて、何か市民の皆さんにも目に届くようなことというのはできないもんなんじゃないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

樋口ガス水道局長。〔ガス水道局長 樋口昭人君登壇〕

○ガス水道局長（樋口昭人君）

お答えいたします。

水質検査の結果につきましては、今現在、水道法で検査義務のある51項目しかホームページで周知してはおりませんが、やはり市民の方が安心して水を飲めるようにということで、今、議員おっしゃるような遊離炭酸、あるいは水のおいしさを感じられる水温等についても、今後ホームページ、それから毎年実施しておりますガス・水道フェア等、人が集まるような場所においても水のおいしさについて周知等をしてまいりまいたいというふうに、今後検討してまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

ぜひ市民の皆さんに糸魚川の水のおいしさを、これ嗜好に入ってくるのかもしれないけど、糸魚川の水嫌だという方も、中にはいらっしゃるかもしれません。

ただ、私は大変おいしい水だと感じております。カルキの臭いが時々、これはもう水道法で決められてる基準の中で消毒をしなければいけないというものの中の1つでありますので、これはそのための安全・安心な水でありますので、私は、ただカルキの臭いをどうするかというと、私は冷たい水にするために一旦やかんで蒸発させて、生で飲む水は、それを使ってやっております。やかんで沸騰させると、とてもカルキが飛んでって、後、冷ましたものをペットボトルなんかに入れて、冷蔵庫に入れとくと、とてもおいしいがぶがぶ飲めるという、一旦煮沸してるというふうな状態なんですけども、糸魚川の水は大変おいしい水だと思っております。

それでは5番目の水道ビジョンの中で平成21年から40年で書いてあるんですけども、見直しをしなければいけないんじゃないかなと思うんですけど、ちなみに平成40年という明記というのはあまりよくない、令和になっておりますので、そういうところをしっかりと変えていく必要があると思うんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

樋口ガス水道局長。〔ガス水道局長 樋口昭人君登壇〕

○ガス水道局長（樋口昭人君）

お答えいたします。

水道ビジョンについては、今後20年後の目標ということで、前は平成ということを表示させていただいておりますが、既に現状と乖離が生じてる部分もございますので、今後、状況を見る中で新しい水道ビジョンのほうを策定していきますので、その中で今後の目標年度も検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

それから、本当、環境も随分変わってきてますので、進めていってほしいと思います。

6番目なんですけど、今後どうされます、令和5年から赤字経営ということが明記されてるんですけども。黒字になるようにと言うけど、人口減がだんだん急速に、増えることはないと思うんですけど、その考えはいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

樋口ガス水道局長。〔ガス水道局長 樋口昭人君登壇〕

○ガス水道局長（樋口昭人君）

議員の言われるように、今後ますます経営が厳しくなることが予想されますので、その対策として、施設の計画的な更新や施設基盤の見直し、また、維持管理の見直しや料金収納業務などの民間委託の検討、また直近では、料金の見直し等などを行い、事業の継続を図ってまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

今後、そういう検討する中で、上下水道の施設を一体管理した包括的民間委託の方向で、それも検討の中に入れていただきたいなと思っております。

当クラブ会で、平成30年の10月30日に石川県かほく市に視察調査に行つてまいりました。地理的条件は異なるんですけども、大変成果を上げております。そんなことも参考になるのかなと思って、今日、提案させていただきました。赤字に陥らない前にそういう、黒字の状態のときにそういう包括的民間委託の方向で検討されるのもいいのではないかなと思っておりますけど、市長いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほど議員も指摘いただいたように、地理的条件が違ふ、非常に当糸魚川市は海岸線に面して、横に長い市でございまして、非常に地理的条件が不利な状況でございます。そういう中で民間委託、また、そして市民のライフラインというところがございますので、そういったところを合わせながら、やはり経営をしっかりとやらなくちゃいけないんだろうと思っております。市民の皆様方に負担がかからない方法は何かというものを捉えながら、取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

3番目の資源循環型社会の推進についてをお伺いいたします。

いかがでしょうか。現在、年間1人当たりごみにかかる経費というのは、今どんなような状態で

推移してますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

市民1人当たり1年間にかかる費用につきましては、過去3年間、1人当たり2万円から2万1,000円ぐらいの規模で推移しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

1人当たり2万から2万1,000円というのは、ちょっと1人ですから、大変な経費がかかっているなと思っておりますが、令和2年、これは過去の推移ですから、今後、令和2年度の見込みというのは、どんなふうに皆さん、まだ上がっていくのか下がっていくのか、そういう試算というのはしておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

新しい清掃センターの建設が終わったことから、人件費分が下がっておりますので、まだ予算ベースではありますが、今年度1人1年当たりの経費につきましては、1万7,884円と試算させていただいております。これにつきましては、先ほどの経費から考えますと、14%減額となったということになります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

見込みとしては14%下がる。上がるより下がるのほうがいいんで、今後、最終処分場もきちっと整備されると、またどんどん変わってくるのではないかなと思っております。

ところで、ごみ袋、今、レジ袋が有料になったために家庭では、家庭ごみを出すときに袋がなくて何とかならないかねという相談が来てるんですけども、当市はそういうごみ袋の有料化というのは、今現在も考えていないもんなんでしょうか。他市の市町村の、県内の市町村の具合というのはどうなってますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

おっしゃったようにレジ袋の有料化制度がスタートしてから、各家庭ではホームセンター等でゴミ袋を買われて、ゴミ出しに利用されているというような情報をよく聞いております。

また、市内の大手スーパーにお聞きしたところ、7割から8割の方はもう既にマイバッグを使われるということですので、そういったものに移行しているものかと思えます。

また、新潟県内でのゴミ有料化の状況でございますが、現在30市町村のうち、25市町村が有料化をしております。当市におきましては、新しくつくりましたゴミ処理基本計画の中で、市長答弁のとおり、市民の減量意識の改革につながる家庭ごみの有料化について、検討を続けますとしておるのが現状でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

当市としては、ゴミ袋の有料化を進めるという方針はないということで理解してよろしいでしょうか。有料にすることによって、条例もつくらなければいけないということではありますが、そのところは平成25年のときに、一応そんなお話も出てたんですけども、今現在進められておりません。今後ずっと有料化については、着手しないということの理解でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

ゴミ処理基本計画をつくる際に、家庭ごみの有料化についてアンケート調査を行っております。こちらのほうの調査結果の中では、有料化したほうがよいと思うかという質問に、思う、思わないという回答よりも分からない、どちらとも言えないという回答が大変多くございました。ですので、こういった面につきましては、また、市民と対話をする中で検討していく必要があるというふうに思っております。

それの中と並行いたしまして、市の施策としましては、今年度新しいゴミ処理基本計画の中では、中高生向けのごみの減量の対策ですとか、新しくできた清掃センターの見学会を通したごみ減量の取組ですとか、食品ロスに対応するためのドギーバッグの検討等を進めておりますので、そちらのほうをまず先行して進めたいと。有料化については、市民との対話を続けたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

そうしますと、当市として踏み込めない理由は、市民の声がどちらでもいいというふうなアンケ

ート結果をもって、そのように進められていないんだという理解でよろしいですか。アンケート採ったら思う、思わない、分からない、じゃあやらないでいいという理解でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

有料化をしないということではなくて、先ほど申し上げましたように、このごみ処理基本計画をつくる中で、アンケートを採ったところ、まだ有料化に関する認知度というのが非常に低いなというふうに考えられました。そういったものをごみ減量等推進審議会の中で協議した結果、当面は検討を続けるというような結果になったということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

アンケートを採った結果、審議会の中で決めちゃったというふうに私は理解してるんですけども。実はそうでなくて、本市として地球環境に貢献するという、そういう大きな大義名分といいますか、大きな柱で考えれば、他市町村も、もう25市町村がもう既にやっておられるということなんで、もうそろそろ糸魚川市も、理由がはっきりしないですね。まだはっきり、これだからしないんだというのがあればいいんですけども、何か市民にどうしましょうかというのを聞いてるだけの様な気がします。

私は、今ここに着手しないと、やはりごみにもお金かかってるわけですよ。2万円から2万1,000円、今までかかってた。それを減量するためにいろんな施策をやってるわけだから、ごみ袋、今ちょうど市民の皆様もマイバッグ持ち始めたら、スーパーの5円、3円の袋が、だったら市にお金を払ったほうがいいよねというような形に、今市民の感覚も変わってきました。ですから、公平な、公正な立場からいくと、1人当たり2万円払うのと、年間2万円払うのと、皆さんでごみを少しずつ減量しようという気持ちを引き出すためには、今やらなければいけないと思っておるんですけども、ぜひ機会を見つけて、コンポストだとか電動ごみ処理機だとか言っても、なかなか今それを使う人たちもいなくなってきましたので、そういうところも考慮していただきたいと思っておりますので、市長いかがですか、なかなか他市では、市長さんの選挙公約で、私はごみ袋を有料化はしませんという公約もされた各市町村の中にいらっしゃるからお話は聞いたことがありますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはりごみの有料化とか、いろいろ施策挙げられましたが、究極はやはりごみの減量だと思って

おります。ごみをどのように減量していくのか。それが焼却場の延命にもつながる部分もあるわけでありますので、市といたしましても非常に大変な環境、ごみの焼却施設については、こういった事柄を経験したわけでございますので、やはり全体的に1つの施策をどうのこうのではなくて、私は全体にごみの減量化というものをやはり真剣に考えていかなくちゃいけないと思っております。それにはやはり有料化というものがあるわけなんです、理解されなくて進めていっても、ただ有料で終わったということだけで終わってしまうわけであります。それでは本当の目的に達せられない部分がありますので、本当にごみの減量というものを真剣に捉えた中で、市民の皆様方とやはり共有して、施策を進めていきたいと思っております。やはりごみの減量というものを市民と皆さんと一体となって向き合っていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

以上で、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

11時5分まで暫時休憩といたします。

〈午前11時00分 休憩〉

〈午前11時05分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。〔15番 田中立一君登壇〕

○15番（田中立一君）

市民ネット21、田中でございます。

発言通告に基づいて、一般質問を行います。

1、新型コロナウイルス感染症による影響と対応について。

(1) 経済、雇用への影響について。

① 市内事業所における、新型コロナウイルス感染症による解雇・雇い止めの状況と雇用調